

平成 19 年 6 月 15 日

市長コメント

本日、日米合同委員会の下部機関である施設調整部会の第 3 回目の会合が開催され、前畑弾薬庫の針尾島弾薬集積所への移設の概要に関し、日米間で認識が一致した旨の発表がありました。

私は、これまでの市議会・県議会議員としての活動を通じ、前畑弾薬庫の移転・返還の実現は、佐世保港のすみ分け促進に加えて、跡地を市民全ての財産として有効活用を図る観点からも、市政運営の最重要事項であると強く認識をいたしておりました。

そのため、関係地元の皆様方に十分にご検討をいただきたいとの思いから、市長就任以来、国等関係機関に対し、できる限り早期に移設・返還に関する基本的な構想を示されるよう要請してまいったところではありますが、本日、合意・公表に至りましたことは、関係者の皆様のご努力の賜物と、深く感謝を申し上げます。

あわせて、今回初めて前畑弾薬庫の返還についても言及されており、喜びもひとしおであります。

本日の公表は、昭和 46 年の「返還 6 項目」策定以来、議会のご協力のもと、30 有余年の長きに亘り、要望を続けてきた結果であり、これまでの先人の努力に心から敬意を表しますとともに、全力を挙げてご支援をいただいております県ご当局に、改めて感謝を申し上げる次第であります。

今後の進め方といたしましては、公表文によりますと、「日米間の合意を得るためには、地元関係自治体からの同意を得ることが求められる。」となっておりますので、私自身、安全性がどのように確保されているのか、直接国から、より詳細に話を聞きたいと考えております。

その上で、地元説明会を開催し、移転・集約に関するご意見を伺うことになろうかと思っております。

私といたしましても、責任の重さを痛感しているところであり、関係地元の皆様方のご理解が得られますよう、誠心誠意、努めてまいります。

(佐世保市基地対策室)